

2020年度
道路アセットマネジメントプラットフォーム
業務内容の報告

2020年11月

日本高速道路インターナショナル(株)
大日本コンサルタント(株)
(一社)国際建設技術協会
西日本高速道路(株)

1. 本業務の背景と目的

- 背景
 - ✓ JICAは、世界約20ヶ国で道路インフラの維持管理能力強化に関する技術協力プロジェクト(以下、技プロ)を実施し、道路行政を担う中核的な人材の育成を展開
 - ✓ JICAは、国内最先端の取組から地方自治体の取組までを一元的に網羅し、開発途上国の課題へ柔軟な対応を可能とするための道路アセットマネジメントプラットフォームを立ち上げ、技プロに課題別研修や国別研修を組み合わせた総合的なアプローチによる効率的、効果的な支援の実施を目指す
- 調査の目的

道路インフラの維持管理能力強化に資する技プロを実施中、若しくは実施済の国において、対象国の維持管理能力を確認し、道路アセットマネジメント定着に向けた課題を整理するとともに、技プロ終了後の道路アセットマネジメント定着に向けた支援計画案を検討する。また、国内外の道路アセットマネジメントに関する情報収集を行うと共にJICA内部に設置されている道路アセットマネジメントプラットフォームの知見蓄積のための支援業務を行う。

2. 本業務の概要

- 契約期間:2020年9月～2021年9月
- 予定従事技術者数:10名
- JV構成：(代表会社)日本高速道路インターナショナル（株）
大日本コンサルタント（株）、(一社)国際建設技術協会
西日本高速道路（株）
- 対象国：ラオス、ブータン、タイ、ザンビア（技プロ）
ソロモン諸島、エルサルバドル(橋梁維持管理 課題別研修)
- 業務内容
 - ✓ 技プロに関する情報収集
 - ✓ 道路AM技術の達成度の確認
 - ✓ 道路AM定着に向けた課題抽出
 - ✓ 道路AM定着に向けた支援計画案の策定
 - ✓ 道路AM技術に関する国内外動向調査
 - ✓ 技プロで適用が可能な技術基準骨子の作成
 - ✓ 過年度課題別研修モニタリング活動
 - ✓ 国別・課題別研修の参加者のDB化
 - ✓ 新規技プロ(道路及び橋梁の維持管理情報収集)
 - ✓ 道路AMプラットフォーム広報用資料の作成
 - 国内支援委員会対応

3. 調査対象プロジェクト

国名	対象プロジェクト	対象サイト
ラオス	道路維持管理能力強化プロジェクト (実施済み) 橋梁維持管理能力強化プロジェクト (実施予定)	全土
ブータン	橋梁施工監理及び維持管理能力向上プロジェクト (実施中) 道路斜面对策工能力強化プロジェクト (実施中)	全土
タイ	トンネルプロジェクト監理能力向上プロジェクト (実施予定)	全土
ザンビア	橋梁維持管理能力向上プロジェクト (フェーズ2) (実施中)	全土
ソロモン諸島	2016年度課題別研修「橋梁維持管理」	全土
エルサルバドル	2017年度課題別研修「橋梁維持管理」	全土

4. 相手国関係機関

国名	和名	英名
ラオス	公共事業運輸省	Ministry of Public Works and Transport
ブータン	公共事業・定住省道路局	Department of Roads, Ministry of Works and Human Settlement
タイ	道路局	Department of Highway
ザンビア	道路開発庁	Road Development Agency
ソロモン諸島	インフラ開発省	Ministry of Infrastructure Development
エルサルバドル	公共事業運輸省	Ministry of Public Works and Transport, Housing and Urban Development

5.作業計画

作業項目	期間	2020年				2021年								
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 業務計画書の策定及びインセプション・レポートの説明・協議														
【1-1】	業務計画書及びインセプション・レポート作成		■											
【1-2】	インセプション・レポートの協議		■											
2. 道路AMの評価手法の検討														
	過年度評価モデルのレビュー 評価項目の追加改善		■											
3. 道路AMの達成度の確認														
	対象国で目指すべき道路AMの達成レベルの確認 技プロ終了時の達成度の予測			ラオス	ブータン	タイ	ザンビア							
4. 道路AM定着に向けた課題抽出														
	道路AMの定着に向けた課題を整理 研究開発が必要な課題に関する本邦大学での研究計画の策定			■	■	■	■							
5. 道路AM定着に向けた支援計画書の策定														
	技プロ終了後の支援計画書を策定			■	■	■	■							
6. 道路AM技術に関する国内外動向調査														
【6-1】	国土交通省・地方自治体・大学・研究機関・民間機関等			■										
【6-2】	WB・ADB/国際会議						■							
7. 技術協力プロジェクトで適用が可能な技術基準骨子の作成														
	技術基準骨子の作成										■			
8. 過年度課題別研修モニタリング活動														
	ヒアリング・セミナーの実施・現地活動の視察									■	■			
9. 国別・課題別研修の参加者のデータベース化														
	国別・課題別研修の参加者のデータベース化											■		
10. 新規技術協力プロジェクトの（道路及び橋梁の維持管理）の情報収集														
	新規技術協力プロジェクトの（道路及び橋梁の維持管理）の情報収集		■											
11. 道路AMプラットフォーム広報用資料作成														
	広報用資料作成												■	
12. 国内支援委員会対応														
	委員会報告・運営			▲				▲						▲
13. 報告書作成														
	報告書作成		▲										▲	▲

現地業務期間 ■ 国内作業期間 □

ラオス、ブータン、タイ、ザンビアのフォローアップ現地調査を2021年4月以降可能であれば実施

